

シンポジウム

ホウ素中性子捕捉療法の 獣医学分野への適応拡大に向けて


- 取り組むべき課題と異分野融合研究の可能性 -

京都大学複合原子力科学研究所は、放射線治療の1つである、ホウ素中性子捕捉療法 (Boron Neutron Capture Therapy, 以下 BNCT) 研究を実施しており、近年は、病院併設可能な加速器中性子源を用いた照射システムの開発に成功、複数の医療機関が導入、治験を実施、来年度中には医療機関で承認医療として実施が期待されています。

現時点において、BNCT で使用する中性子線は体深部に十分量が到達しない点から、適応は体表から浅い位置の悪性腫瘍に限られる一方、伴侶動物の大きさは、どの部位の悪性腫瘍へも十分な中性子量の投与が可能となり、原則、1日1回の照射で治療終了、伴侶動物の悪性腫瘍で多いとされる肉腫に対し治療効果が期待できます。

本シンポジウムでは、伴侶動物に対する BNCT の適応について、諸課題と併せヒトの放射線腫瘍学と獣医学分野における双方向性の学術的な異分野融合研究の可能性を議論します。

プログラム

- 
- 9:50-10:00 開会挨拶
 - 10:00-10:10 ホウ素中性子捕捉療法について // 鈴木実 (京都大学 複合原子力科学研究所 教授)
 - 10:10-10:35 サイクロトロン加速器を用いた中性子源の現状について // 田中浩基 (京都大学 複合原子力科学研究所 准教授)
 - 10:35-11:00 BNCT における ^{18}F -FBPA PET の重要性 // 礒橋佳也子 (大阪医科大学 関西 BNCT 共同医療センター 講師)
 - 11:00-11:25 明細胞肉腫に対する BNCT 適応に向けてのトランスレーショナル・リサーチ
藤本卓也 (兵庫県立がんセンター 整形外科 部長)
 - 11:25-13:00 昼食休憩, ポスター閲覧
 - 13:00-14:00 Translational and clinical-veterinary studies of Boron Neutron Capture Therapy for Head and Neck cancer
Dr. Mandy Schwint (National Atomic Energy Commission, Arg)
 - 14:00-14:25 山口大学動物医療センターにおける放射線治療 // 中市統三 (山口大学 共同獣医学部 教授)
 - 14:25-14:50 小動物における PET 診療の現状 // 夏堀雅宏 (北里大学 獣医学部 教授)
 - 14:50-15:05 休憩
 - 15:05-15:30 人と動物のがん克服を目指す比較腫瘍学の過去、現在、未来 // 丸尾幸嗣 (ヤマザキ動物看護大学 教授)
 - 15:30-15:55 岐阜大学における医学と獣医学の橋渡し研究 // 松尾政之 (岐阜大学大学院 医学系研究科 教授)
 - 15:55-16:20 北海道大学における先端獣医療の現状と獣医連携への取り組み // 滝口満喜 (北海道大学大学院 獣医学研究院 教授)
 - 16:20-16:50 討論 及び 総括 (演題が1題追加される可能性があります)
 - 16:50-17:00 閉会挨拶

日時：2020年3月14日(土) 9:50 - 17:00

場所：インテックス大阪 国際会議ホール (大阪府大阪市住之江区南港北1丁目)

お申込み方法：下記メールへ ご所属、職名、お名前、連絡先をお知らせください

(参加無料、当日参加も可能です)

主催：京都大学 複合原子力科学研究所

共催：大阪府立大学 獣医臨床センター

ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) 推進協議会

(事務局：大阪府、熊取町、京都大学、大阪医科大学)

問い合わせ先：京都大学 複合原子力科学研究所

獣医学 BNCT 推進プロジェクト事務局

〒590-0494 大阪府泉南郡熊取町朝代西2丁目

TEL: 072-451-2432 メール: bnct-office@rri.kyoto-u.ac.jp